

柏市環境基本計画（第三期） 《概要版》

5 重点プロジェクト

「4つの基本目標」と「情報発信と協働」において、本計画を先導し、また進捗の目安となる5つの重点プロジェクトを次のように定めます。

(1) 谷津の保全

谷津は、生物多様性や水循環、景観等の観点から重要な環境資源ですが、近年は土地所有者の高齢化等により荒廃地化が進み、埋め立てられる事例等が見受けられます。このため、①谷津保全策の策定及び運用、②自然とのふれあいにに向けた活用、に取り組み、谷津の自然環境を保全します。

◆谷津の環境



(2) 3Rの推進

循環型社会の形成を推進するため、ごみの減量化を第一として、ごみの排出抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再生利用（Recycle）の3Rの普及・促進が求められています。このため、①生ごみ処理容器等購入費補助事業の推進、②継続的な啓発の推進、に取り組みます。

◆クリンちゃん



柏市ごみ減量マスコットキャラクター

(3) 緑のオープンスペースの確保

近年の都市化の進展に伴う市民が憩う緑のオープンスペースの減少に加えて、今後は人口減少や高齢化による土地の低未利用地化が懸念されています。このため、①低未利用地の活用の推進、②公園等の活用の推進、に取り組み、日常を快適に生活できる住環境の維持・向上につなげます。

◆雑木林活用型公園のイメージ



資料：柏市緑の基本計画

(4) 省エネ・創エネの促進

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減を、今後さらに進めていくためには、家庭やオフィス等の事業所から排出されるCO₂を削減することが特に求められています。このため、①家庭や事業所の低炭素化の推進、②新たなエネルギー技術の活用、に取り組み、省エネ行動の促進に加えて、エネルギーの自給に向けた取組を合わせて推進します。

◆低炭素な市民生活のイメージ



資料：第二期柏市地球温暖化対策計画

(5) 環境学習の推進

現在、本市では、ボランティア団体やNPO等、様々な主体によって環境学習が実施されていますが、今日の複雑化した環境問題に対応するためには、より主体的に行動する人を育てる必要があります。このため、①環境に関する学びと実践の支援、②学校における環境教育の支援、に取り組み、本計画の取組の実効性を高めます。

◆里山ボランティア入門講座



発行：柏市 編集：柏市 環境部 環境政策課
所在地：柏5丁目10番1号 電話：04-7167-1695 ファクス：04-7163-3728
URL：http://www.city.kashiwa.lg.jp

1 計画の基本的事項

【環境基本計画とは】

「柏市環境基本条例第9条」に基づき、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的に策定する計画です。

【改定方針】

- ①「柏市第五次総合計画」の部門別計画として、市の環境施策の基本的な考え方等を定める。
- ②環境分野の個別計画と理念等の主要部分を共有し、環境分野におけるマスタープランとする。
- ③環境分野に関連する各種計画と連携して、環境の保全等に関する取組を組織横断的に推進する。
- ④地球温暖化等の広域な環境問題は、国等の方針に合わせながら、可能な限り独自性、先進性のある取組を推進する。
- ⑤計画の進捗管理は、「柏市環境管理システム（KEMS）」を活用する。

【位置づけ】

「柏市第五次総合計画」を上位計画として、まちづくりの考え方、方向性を共有し、環境面からまちづくりを推進します。

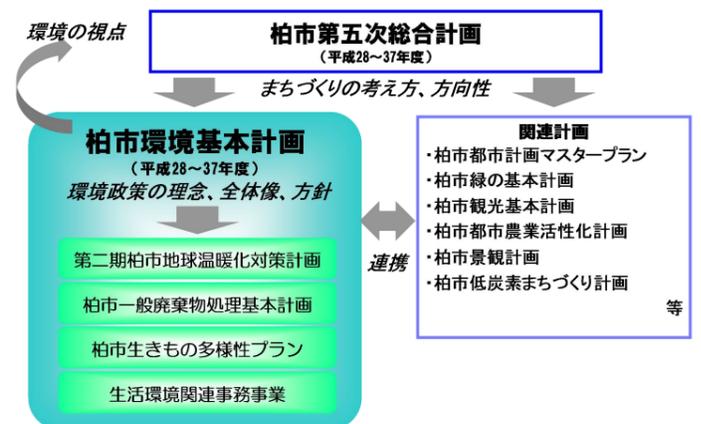
また、環境分野のマスタープランとして個別計画に方向性を示すとともに、各種関連計画と連携して、環境の保全及び創造に関する取組を推進します。

【計画期間】

平成28年度から平成37年度（10年間）です。

【対象】

「柏市環境基本条例第2条」に基づき、本計画が対象とする環境の範囲は、「自然環境」「生活環境」「快適環境」「地球環境」の4分野とします。



2 望ましい環境像

本市の環境の保全及び創造において、将来を展望した総合的、長期的な視点に立った望ましい将来像である環境像を、次のように定めます。

共に生きるために、環境を守り、育て、伝えるまち 柏

すべての市民が、自然とのよい関係を永遠（とわ）に保てるよう、共に活動して環境を守り、安全な環境の中で自然と共に暮らせるまちを育み、明日の柏を担う人々に伝える、そのようなまちを目指します。

3 施策の方向性 望ましい環境像の実現に向けて、本計画の対象範囲の各分野ごとに基本目標を定め、また、全分野に共通するものとして情報発信と協働を位置付けます。

◆基本目標1◆ 多様な生物が生息できる環境を目指し、豊かで魅力ある自然環境の保全に努めます。



生物、生態系、水域、緑地等の地形等の自然的要素の観点から、市街化調整区域を中心に、自然環境の保全を目指すものです。市街化調整区域の主な土地利用は農地であるため、環境と農業の『共存』を踏まえた自然環境保全を重点テーマと捉えます。

《代表的指標》 谷津田の保全協定締結率 ⇒20% (平成37年度)

基本方針	施策の方向性	主な関連計画
1-1 水と緑の保全・活用	①農地の多面的機能の再評価 ②農業環境の維持・拡大 ③樹林地や水辺、谷津田の保全	柏市緑の基本計画 柏市都市農業活性化計画 柏市生きもの多様性プラン
1-2 生物多様性の保全・再生	①生きものの種と生態系の把握 ②生きものが継続して、生息・生育できる環境の保全・再生	

◆基本目標2◆ 安全で健康に暮らせる生活環境を目指し、また環境負荷の少ない循環型社会の形成に努めます。



人の生活、活動に伴い環境に変化を与える要素の観点から、生活環境の保全と循環型社会の形成を目指すものです。化学物質等による環境悪化や健康被害の防止、抑制、ごみ減量化等をはじめとした3Rを重点テーマと捉えます。

《代表的指標》 ごみの排出量原単位の削減 ⇒870g/人・日 (柏市一般廃棄物処理基本計画平成28年度目標値)
環境基準の達成・維持 (平成37年度)

基本方針	施策の方向性	主な関連計画
2-1 ごみの減量、資源循環の推進	①3R行動の普及・促進	柏市一般廃棄物処理基本計画
2-2 ごみの適正処理	①ごみ処理システムの安定化 ②施設の老朽化対策	
2-3 安全な生活環境の維持	①水質の保全 ②大気 ③地下水及び土壌の汚染対策 ④化学物質対策、放射線対策 ⑤水循環の保全 ⑥環境美化、不法投棄対策 ⑦近隣公害対策	

◆基本目標3◆ 景観や環境資源に親しみ、快適で魅力あふれる住環境の形成に努めます。



人の心に“安らぎ”や“うるおい”を与える要素の観点から、市街化区域を中心に、良好な住環境の形成を目指すものです。人口減少と土地利用の低下が住環境に大きく影響することを踏まえて、緑の活用による住環境の向上を重点テーマと捉えます。

《代表的指標》 緑のオープンスペースの確保⇒10.0㎡/人 (柏市緑の基本計画平成37年度目標値)

基本方針	施策の方向性	主な関連計画
3-1 緑と潤いの創出、景観の向上	①緑の創出・保全・活用 ②水と緑を活かした景観の形成	柏市緑の基本計画 柏市景観計画
3-2 土地の適正な利活用	①土地の荒廃地化防止策の検討	柏市観光基本計画
3-3 環境資源の活用	①環境資源の情報整備・発信 ②自然や農業を核とした人の交流の活性化	柏市都市農業活性化計画

◆基本目標4◆ 地球温暖化対策を進め、持続可能な低炭素・気候変動適応社会の構築に努めます。



人の活動が地球規模の環境に影響を与える要素の観点から、持続可能な低炭素・気候変動適応社会の構築を目指すものです。温室効果ガス排出量を削減する低炭素社会づくりとともに、将来の避けられない気候変動への適応を重点テーマと捉えます。

《代表的指標》 市域の温室効果ガス排出量の削減 ⇒H32年度までにH17年度比3.8%削減(第二期柏市地球温暖化対策計画平成32年度目標値)

基本方針	施策の方向性	主な関連計画
4-1 低炭素ライフへの転換	①市民・事業者への啓発・支援 ②新規分野への取組の拡大	第二期柏市地球温暖化対策計画 柏市低炭素まちづくり計画
4-2 低炭素まちづくりの推進	①拠点の省エネルギー化 ②移動支援とネットワークの充実	
4-3 適応策を含めた新たな取組の検討・実施	①気候変動適応策の検討・実施	

◆情報発信と協働◆

- (1) 環境情報の発信、共有
- (2) 協働の推進
- (3) 市民との協働
- (4) 事業者との協働
- (5) 民間団体活動の促進
- (6) 公共団体等との協力・連携

具体的な取組の例

◆里山ボランティア入門講座



◆ごみ減量出前授業



◆ゴミゼロ運動



◆ハウディモール景観づくり



4 計画の推進

計画の実効性を確保し、着実な推進を図るために、「柏市環境管理システム (KEMS ; Kashiwa Environmental Management System)」を用いて、本計画の進捗管理を行います。

